

# プラズマ・核融合学会誌

第84巻第1号

2008年1月

巻頭言	プラズマ・核融合分野とともに発展する学会活動	本島 修	1
サロ	ITERの現状とITERの望む人材	池田 要	3
解説	表面プラズモンの基礎と応用	永島圭介	10
講座	大気圧プラズマを点けてみよう		
	4. 大気圧プラズマを点けてみよう	北野勝久, 谷口和成, 酒井 道, 高木浩一, 浪平隆男, 服部邦彦	19
	5. まとめ	水野 彰	29
講座	オープンソースソフトウェアを使った実践データ解析		
	1. はじめに	鈴木康浩, 稲垣 滋	31
	2. 便利なツールの使い方	鈴木康浩	33
研究論文	YAGレーザー溶接されたV-4Cr-4Ti合金の照射組織に及ぼす溶接後熱処理の効果	渡辺英雄, 山崎和宏, 東嶋 彬, 吉田直亮, 長坂琢也, 室賀健夫, 許 男鎮, 篠崎賢二	46
研究技術ノート	大規模シミュレーションを中心に据えた遠隔研究システム	菅原章博, 岸本泰明	51
博士論文紹介	核融合境界層におけるプラズマ及び中性粒子の流れに関する実験的研究	四竈泰一	62
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト			68
インフォメーション			69
	ITER だより(7)		
	【会議報告】ITPA (国際トカマク物理活動) 会合報告(20)		
	第49回アメリカ物理学会プラズマ物理分科会 (APS-DPP) 年会		
Plasma & Fusion Calendar			76
本会記事			77
	第14回プラズマ理工学国際会議(ICPP2008)一般発表論文の募集/第7回核融合エネルギー連合講演会一般講演(ポスター発表)募集/第24回年会報告/投稿規程・料金表		

## 表紙の絵

LHDにおいて観測された内部拡散障壁を伴う放電(▼)と通常放電(○)におけるプラズマ圧力分布の比較。固体水素ペレット入射を用いた中心粒子供給をすると強い密度勾配を持つ内部拡散障壁が形成され、コア部に高密度プラズマが閉じ込められる。内部拡散障壁プラズマでは大気圧を超えるプラズマ圧力が達成されており、その高いプラズマ圧力に起因する大きなシャフラノフシフトによって特徴付けられる。(Ryuichi SAKAMOTO *et al.*, Plasma and Fusion Research Vol.2, 047 (2007). <http://www.jspf.or.jp/PFR/>)

【複写をされる方に】本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による内利用目的の複写はその必要はありません。(社外頒布用の複写は許諾が必要です)権利委託先: 学術著作権協会 Tel: 03-3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp  
なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、直接発行団体へご連絡ください。  
また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください、

Copyright Clearance Center, Inc. (CCC) (222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA Tel 1-978-750-8400; Fax 1-978-646-8600)